事業厚生常任委員会行政視察報告　〈京都府 亀岡市〉

報告者　事業厚生常任委員会委員長　田中圭介

視察内容

「プラスチックごみゼロに挑戦する亀岡市の取組み」について

亀岡市では 2030 年に向けて、プラスチックごみゼロをはじめ、様々な取組みを行っている。

●プラスチックごみゼロを目指した背景

観光客の指摘がきっかけで、保津川下りの船頭さん２人が保津川に溜まる、漂うごみペットボトル・空き缶・川沿いの木々にかかるビニール袋・堆積する被覆肥料などの清掃活動を始めた。

その後、「ゴミ拾い」はＮＰＯ、行政などの活動へと拡大した。

・2004 年 保津川下りの船頭さんによる清掃活動が始まる

・2007 年 「NPO 法人プロジェクト保津川」が誕生

・2012 年 内陸部の自治体で初めて「海ごみサミット 2012 亀岡保津川会議」を開催

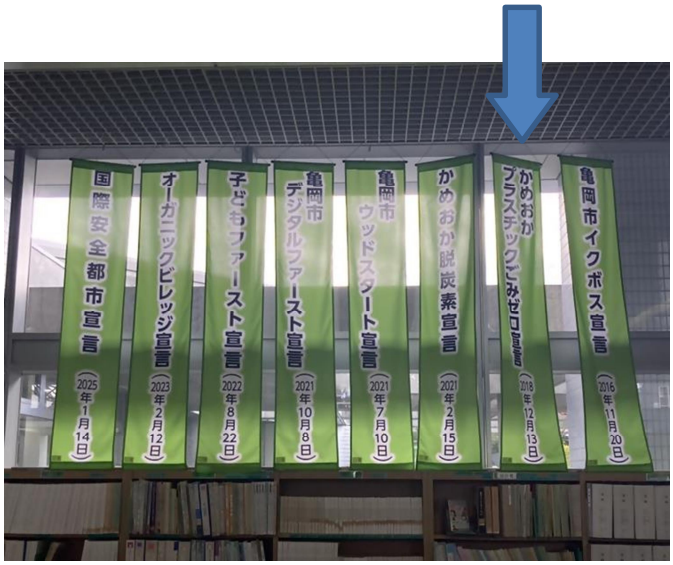
・2013 年 川と海つながり共創プロジェクト設立

・2015 年 環境先進都市を目指すビジョンを示す

・2018 年 亀岡ゼロエミッション計画を策定

・2018 年 12 月 13 日 かめおかプラスチックごみゼロ宣言

★市と市議会が共同で発表、市長と議長が共に宣言



市役所ロビーに掲げられた「宣言」

☆2030 年までに使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指す

☆「自然環境の保全」と「地域経済の活性化」に一体的に取り組む『世界に誇れる環境先進都市』を実現すること

・2020 年 3 月 24 日 プラ製レジ袋提供禁止条例 制定

・2021 年 1 月 1 日 プラ製レジ袋提供禁止条例 施行

・2021 年 6 月 1 日　氏名公表施行

＊「亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例」制定ま

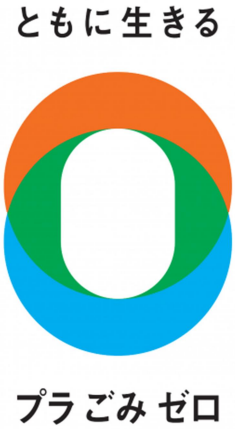
での取り組み

・Plastics Smart 亀岡 100 人会議を開催

・ワークショップを開催し

取組の象徴「環境ロゴマーク」を制作





・産官学３５団体で構成される

「世界に誇れる環境先進都市・かめおか協議会」を設立

・自治会単位で市民説明会を開催（28 回以上）

●保津川下りの船頭さんが清掃活動を始めてから 16 年を経て

2020 年 3 月 24 日、全国初となる「亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例」を制定

＊条例がスタートし、事業者の反応は・・・

制度のスタート		お客様の反応	
スムーズにスタート	44%	理解されていた	39%
大きなトラブルはなかった	42%	一部苦情等はあったが制度は理解されていた	42%
その他	11%	苦情は多かった	8%
無回答	3%	その他	8%
トラブルが多発した	0%	無回答	3%

【条例の概要】

・2021 年 1 月 1 日条例施行

・事業者がプラスチック製レジ袋（有料の生分解性の袋は除くが、そうであっても事業者から消費者へレジ袋の提供（販売）を申し出ることはしない）を提供することを禁止

・生分解性の袋であっても無償で提供することは禁止

・違反者は、審査会の意見を聞いた上で氏名を公表

（R8.10 月時点公表の実績はなし）

●プラ製レジ袋提供禁止条例がもたらした効果

	エコバック持参率	レジ袋枚数
2019 年 4 月	５３．８％	７３６，７４４枚（プラ製）
2026 年 3 月	９８．３％	１０,２３５枚（紙製）

＊有料紙製レジ袋の販売はＯＫ



HOZUBAG（ホズバッグ）
エコバッグ普及へ

亀岡市の大空を舞うパラグライダーの生地を活用し作られたエコバッグ。

厳しい安全基準により飛ぶ役目を終えたパラグライダーを回収し作られたバッグは軽さと丈夫さが特徴

★今回の視察では、亀岡市と企業・住民が一体となり、2030 年に向けた「プラゴミゼロ」に取り組んでいるところが素晴らしく、また 2004 年 2 人のごみ拾いから始まり、「プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例」施行に至るまでの様々な話を聞くこともでき、『ゼロカーボンシティ宣言都市　熊取町』として、大変参考になった。



